



MS 3 1 3 - 1 2 0 0 2

リヤディフューザー

取付・取扱要領書

この度はオーリス用TRDリヤディフューザーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
 本書は上記TRDリヤディフューザーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
 取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
 なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

本商品は、車両登録後に取付けを行ってください。
 登録前に取付けを行った場合、持込みの新規検査が必要になります。

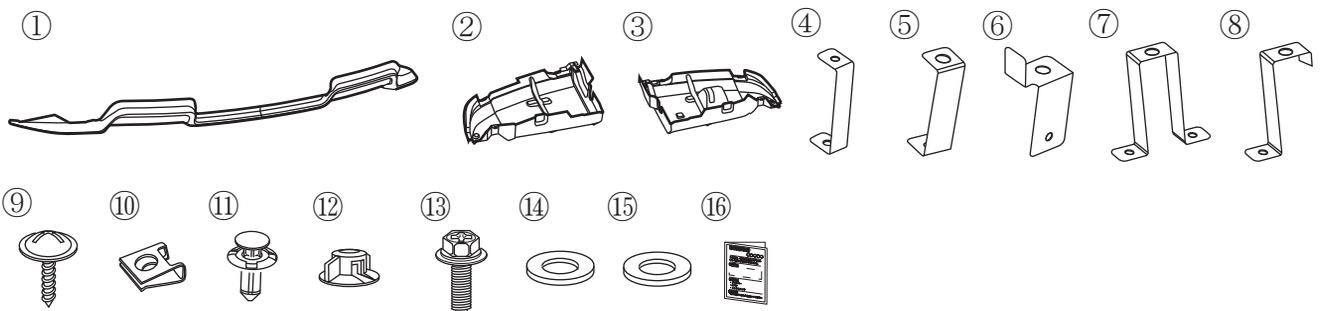
■品番・適合一覧表

品番	塗装色	備考
MS313-12002	ブラックマカ (209)	オーリス 1.8L車のみ適合 '12.08~

- ・本商品の取付には、別売りハイレスポンスマフラー(MS153-12015)との同時装着が必要になります。
- ・TRDハイレスポンスマフラーとの同時装着の際は、必ずマフラーの取付作業を先に行ってください。

■構成部品一覧表

No.	品名	品番	個数	備考
①	本体		1	
②	別ピース RH		1	
③	別ピース LH		1	
④	ブラケット C		1	
⑤	ブラケット D		1	
⑥	ブラケット E		2	
⑦	ブラケット F		1	
⑧	ブラケット G		1	
⑨	タッピングスクリュー		6	呼び径5×16
⑩	Jナット		6	呼び径5
⑪	クリップ		7	
⑫	ナットクリップ		2	
⑬	ボルト		2	M12×35
⑭	ラバーワッシャー		1	t=1.0 φ20-φ30
⑮	ラバーワッシャー		1	t=1.0 φ11-φ18
⑯	取付・取扱要領書		1	本書



トヨタ テクノクラフト株式会社

〒222-0002 横浜市港北区新綱町800番地 TEL.(045)540-2121 FAX(045)540-2122

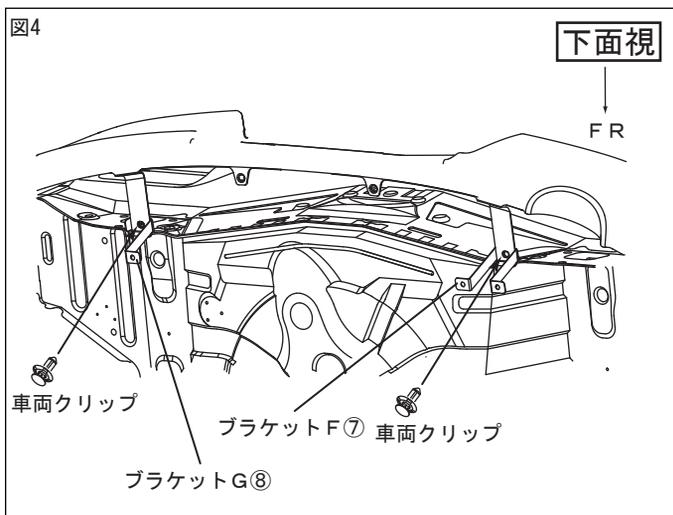
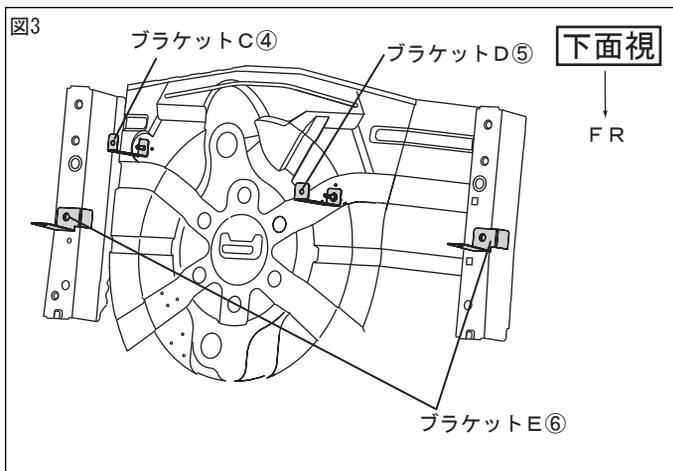
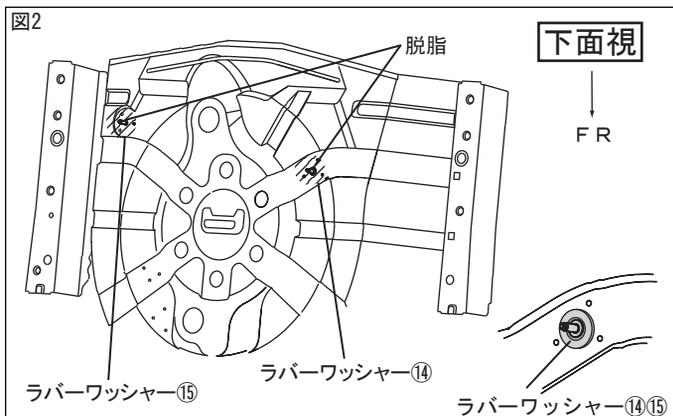
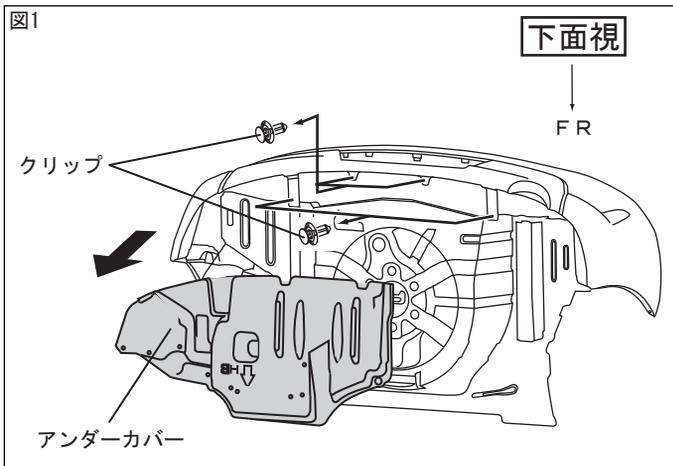
■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **確認** 本商品は過去に事故歴のない車に、確実に装着が可能です。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両部品の取外しに際し、クリップ等の紛失や混乱が無いように、部品毎に整理し、復元する際、間違えないよう配慮してください。
-  **注意** 車両部品の脱着および車両へのリヤディフューザーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。
また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 外気温度が15℃以下の場合は、両面テープの接着力が低下しますので、テープ部及び取付面をドライヤー等で約40℃前後に加熱してから取付けてください。
-  **警告** 取付けの際は、指定トルクに従って各ボルト類を充分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、ボルト類が緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をお止めください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。
そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。



□取付準備

1. 図1のようにリヤバンパーからアンダーカバー、クリップを取外す。(4箇所)

⚠注意：取外したクリップは再使用しますので無くさないようにしてください。

2. 図2のように車両パネルの止め点部を脱脂洗浄する

⚠注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

3. 図2のように車両パネルの止め点部の脱脂した部分のボルトにかからないように、ラバーワッシャー⑭⑮を貼り付ける。

4. 図3のように車両パネルの止め点に、ブラケットC④をナットクリップ⑫にて固定する。(1箇所)

5. 図3のように車両パネルの止め点に、ブラケットD⑤を大きい穴を車両パネル側にして、ナットクリップ⑫にて固定する。(1箇所)

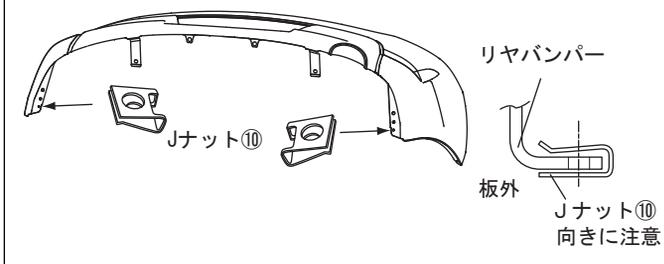
6. 図3のように車両フレームの止め点に、ブラケットE⑥を車両前側に縦の面が来るように向きに注意してボルト⑬にて固定する。(2箇所)

⚠注意：ブラケットの位置と向きを間違えると、リヤディフューザーを取り付けられなくなります。

7. 図4のようにバンパーと車両止め点の右側にブラケットF⑦、左側にブラケットG⑧を向きに注意し車両パネルとバンパーに挟み込み図1で取り外した車両クリップにて固定する。

⚠注意：ブラケットの位置と向きを間違えると、リヤディフューザーを取り付けられなくなります。

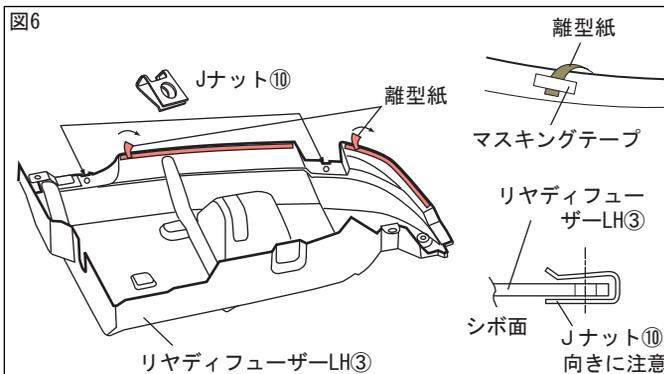
図5



8. 図5のようにバンパーの止め点に、Jナット⑩を向きに注意して差し込みます。
(左右各1箇所)

⚠注意：図5のようにJナット⑩の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリュー⑨が取付かなくなります。

図6

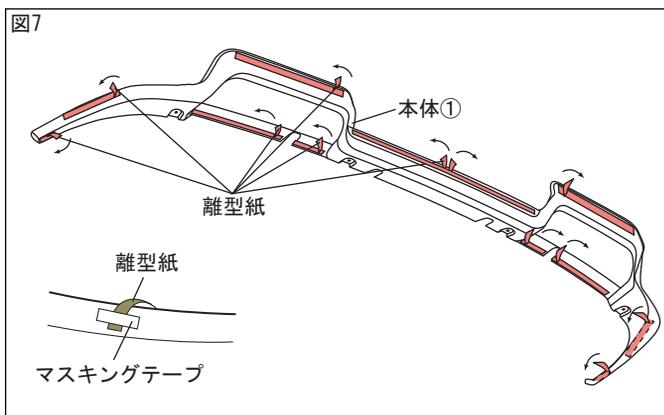


9. 図6のように別ピース②③の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各2箇所)

⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

10. 図6のように別ピース②③にJナット⑩を差し込む。
(左右各2箇所)

図7



11. 図7のように本体①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各6箇所)

12. 図8のようにリヤバンパーのリヤディフューザー①②③取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

図8

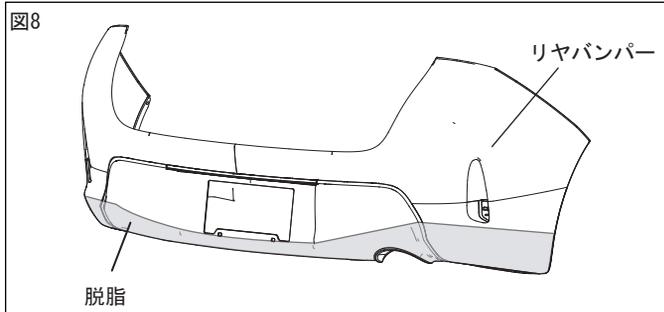
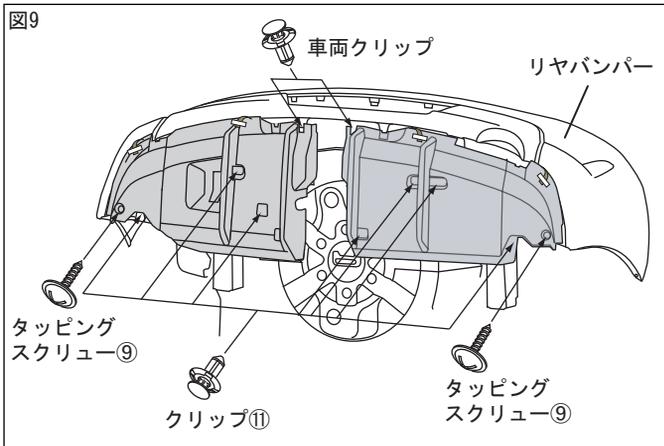


図9



□取付要領

1. 図9のように別ピース②③をリヤバンパーにかぶせ、クリップ⑪(計7箇所)と車両クリップ(計2箇所)で固定し、タッピングスクリュー⑨(左右各1箇所)を仮締めする。

⚠注意：同時装着マフラーのフローアパネルブレースを先に取付けて下さい。

図10

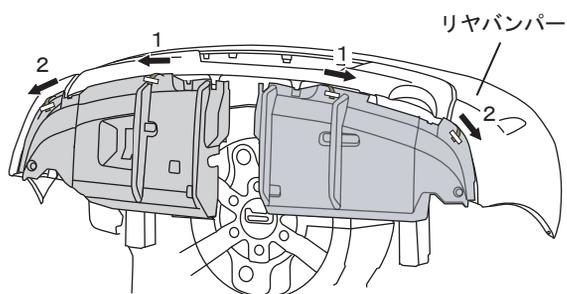


図11

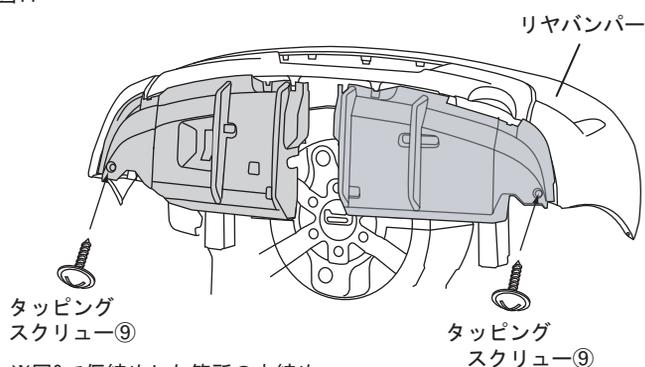


図12

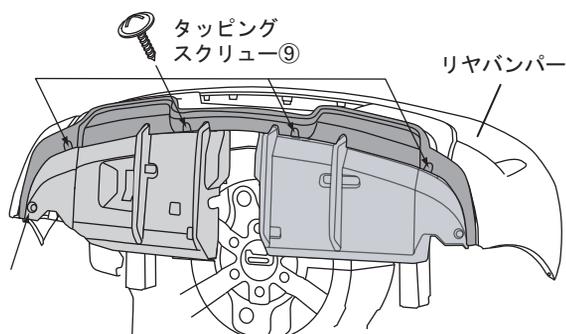
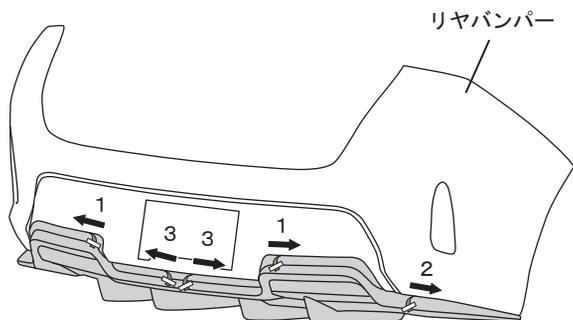


図13



2. 図10のように別ピース②③を左右のズレ、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙（左右各2箇所）を左図番号順に剥がしながら貼付け {49N (5kgf) 以上} 圧着する。

△注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているため、テープ面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

3. 図11のように仮締めしておいた下面をタッピングスクリー⑨で本締めする。
(左右各1箇所)

4. 図12のように本体①を別ピース②③とリアバンパーにかぶせ、タッピングスクリー⑨(左右各2箇所)を仮締めする。

5. 図13のように本体①を車両に被せ、左右のズレ、コーナー部分の隙が無い事を確認しながら両面テープの離型紙（左右各4箇所）を左図番号順に剥がして貼付け {49N (5kgf) 以上} 圧着する。

△注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているため、テープ面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

図14

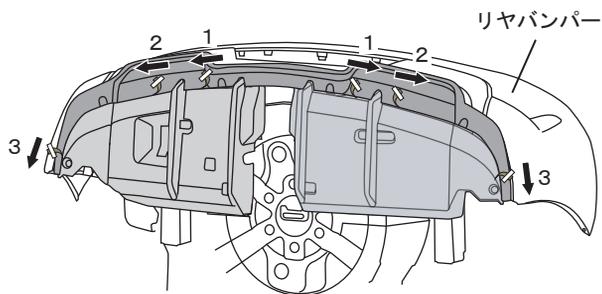
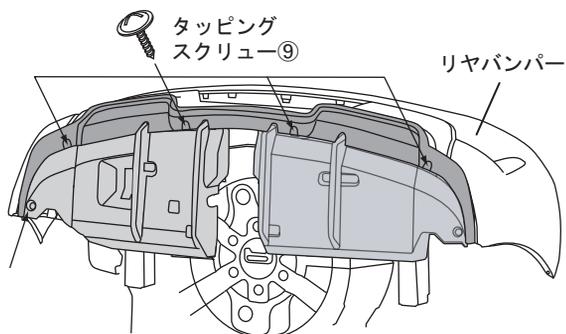


図15



※図12で仮締めした箇所の本締め

6. 図14のように本体①と別ピース②③を左右のズレ、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙（左右各3箇所）を左図番号順に剥がしながら貼付け
 {49N (5kgf) 以上} 圧着する。

△注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているのので、テープ面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

7. 図15のように仮締めしておいた下面をタッピングスクリー⑨で本締めする。
 (左右各2箇所)

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. リヤディフューザーがスクリー・クリップ・ボルトにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. リヤディフューザー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。